

「栃木県の魅力 PR 大使」として提案 高校 2 年生探究学習発表会

令和 8 年 3 月 5 日（木）、須賀栄子記念講堂大ホールにおいて、高校 2 年生による探究学習発表会が開催されました。

今年度の探究テーマは、「私たちが住む栃木県の良さを見つめ直し、自分たちが『栃木県の魅力 PR 大使』になったと仮定して、県内外の人々や企業にその魅力や提案を発信し、未来の栃木づくりに寄与すること」としました。

生徒たちは、栃木県の観光資源や文化、産業などについて調査を行い、地域の魅力をどのように発信し、発展につなげていくことができるかをグループごとに考察しました。

また、沖縄・シンガポールへの修学旅行での学びも、本探究活動の重要な視点となりました。シンガポールでは、多様な文化や価値観が共存する国際都市を体感し、海外の視点から地域の魅力を発信することの意義について考えました。

沖縄では、歴史や地域社会が抱える課題を学び、日本や世界が直面する諸課題への理解を深めつつ、その学びをもとに栃木の将来や魅力について考察しました。

発表会では、各クラスでの発表を経て選出された 22 グループがプレゼンテーションを行いました。発表は、仮説に基づいた考察となっているか、信頼性のある情報を根拠としているか、また構成や説明が明確であるかといった観点から教員による審査が行われました。

今回の探究活動を通して、生徒たちは情報を収集・分析して自分の考えをまとめ、根拠に基づいて説明することの重要性を学びました。また、地域の魅力や将来について主体的に考える貴重な機会となりました。

